

株式会社Yanekara

1. 会社状況

(本社)所在地	千葉県柏市柏の葉5-4-19東大柏ベンチャープラザ	代表者名	代表取締役 松藤圭亮
電話/FAX番号	080-7183-5272	URL	https://yanekara.jp/
設立年月	2020年6月	資本金(百万円)	100(百万円)
売上高(百万円)		従業員(名)	18名
事業内容	分散型電源に関する機器およびソリューション		
主要製品	EV充電コントローラー「YaneCube」、余剰電力の蓄電を最小費用で実現するサービス「Yanekara One」など		
東葛テクノプラザ 連絡先	役職名	イノベーションサポート部	氏名 秋山菜々美
	E-mail	nanami.akiyama@yanekara.jp	電話番号 080-4934-5783
		入居室	603号室

2. 東葛テクノプラザにおける研究・事業開発概要

【研究・事業等のテーマ】

高効率で業界最軽量の双方向マイクロインバーターの開発

【テーマの概要】

現在弊社は、分散型電源を独自のクラウドで制御し、仮想発電所「21世紀の黒部ダム」をつくることを目指している。この21世紀の黒部ダムは蓄電システムやV2Xシステムにより構成される。東葛テクノプラザでは、こうした蓄電システムやV2Xシステムといったアプリケーションの基盤となるインバータ技術を開発する。

3. コア技術(保有技術等)

＜保有している技術＞

- ・EV充電コントローラー「YaneCube」
- ・太陽光自家消費のための制御システム「Yanekara One」



EV充電コントローラー
YaneCube



Yanekara One

＜保有している特許＞

- ・充放電管理システム
- ・情報処理装置、当該情報処理装置を用いた方法及びプログラム
- ・接続用装着及び情報処理方法(特許)
- ・電力変換装置及び電力変換方法(特許)

4. 事業展開

弊社はビジョンとして「分散型電源で『21世紀の黒部ダム』をつくる」を掲げている。これは、独自の「プラグイン電源」技術により工事不要で設置可能な分散型電源を前例のないスピードで普及させ、独自のクラウドで制御することで、20世紀の集中型電源に代わる仮想発電所「21世紀の黒部ダム」を構築することを意味する。

現在、日本でも九州をはじめとする地域で、太陽光発電の出力抑制が深刻な社会課題になりつつある。また、海外でも需要と供給の不安定化により大規模な停電が起きている。こうした事態を対処するため、太陽光の余剰を溜めておく蓄電システムと太陽光発電の不安定要素を補う「調整力」を生み出すことが喫緊の課題となっている。

このビジョンを達成するため、まず2025年の夏より、家庭の太陽光を自家消費するための制御システム「Yanekara One」のサービス開始を予定している。そして、2027年頃から自社開発インバータを搭載した蓄電システムやV2Xシステムの展開を目指す。

特記事項

【認定・受賞】

- ・2023年3月 「東京大学総長賞」を受賞
- ・2023年10月 「アジア・アントレプレナーシップ・アワード(AEA)2023」 準優勝
- ・2024年3月 「YaneCube」千葉県ものづくり認定製品に認定